

令和2年9月(第5回)理事会概要

日本ボーイスカウト千葉県連盟
事務局

〔審議事項・承認事項〕

1. 県連盟コミッショナーの推薦について
 - ・本年12月末で任期となる県連盟コミッショナーに片寄・現県連盟コミッショナーを日本連盟に推薦する。
(承認)
2. スカウト章認証について(理事会追認)
 - ・菊スカウト章: 井関晃大(千葉13)、山田佳樹(千葉27)、安藤優汰(千葉27) (8月企画会議承認分)
石田大樹(香取1)、石橋祐弥(千葉1)、村上のの子(千葉1)、江澤蒼恋(千葉6) 《承認》
3. 第21回千葉県カブラリー(21CR)の開催企画案について
 - ・会場候補地を千葉ポートパークとすることで、21CR開催企画の変更が提案され、承認された。
 - ・12月6日(理事会開催可否)までの、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考慮したプログラムの作成、運営予算案、プログラムガイドの作成等の準備作業スケジュールが報告された。
4. 第21回千葉県キャンポリー(21CC)実行委員会の承認と実行委員の推薦について
 - ・21CC実行委員会設置が承認され、委員長に太田大州理事が推薦され、承認された。
 - 任期 大会終了後、報告書取りまとめまで(予定では令和3年12月まで)
 - 各地区から3名、令和2年9月30日までに推薦いただき、令和2年10月初めに第1回実行委員会を開催したい。
5. 子どもの自然体験活動推進協議会について
 - ・文部科学省委託事業「子どもの心身の健全な発達のための子どもの自然体験活動推進事業」推進のため「子どもの自然体験活動推進協議会」会則案とメンバーが提案され、承認された。
6. 第2回CRC就職活動支援セミナーについて
 - ・CRC就職活動支援セミナーの企画案が提案され、承認された。
 - 日時(候補) = 12/12(土)、12/13(日)、12/19(土)、12/20(日)
 - 場所(候補) = 船橋市中央公民館(オンライン開催も並行して検討)

〔報告事項〕

1. 加盟登録について
 - (1) 令和2年8月末登録状況
 - ・4,616人/96団、前年同月比 -381人、前年度末比 -1,130人
2. 委員会報告
 - (1) スカウト支援委員会
 - ① 救急法・看護法講習会関係
 - 1) スカウト向け救急法講習会の追加開設について
 - ・9月以降の救急法講習会の追加開催を検討したが、消防の救命講習再開状況、感染予防の点からも現状、まだ開催は難しい。12月に今年度初回の講習会を開催予定。
 - 2) 救急法講習会ハンドブックの改訂について
 - ・新救急法講習会のハンドブックを見直して改訂資料を発行したが、新旧対照表だけでなく、必要な

ものは印刷して発行することを検討中。

- ②令和2年度日米キャンプ(米国連盟(BSA)極東連盟アジア東地区主催)について
 - ・BSA 極東連盟担当者から7月に、今年度は中止となった旨の情報がいった。
- ③JOTA-JOTI 2020(2020年10月16日(金)～18日(日))
 - ・日本連盟の実施要項だけでは解り難いので、地区、団、隊、個人でも参加し易いよう案内にまとめ、各地区に配信した。
 - ・期間中、千葉市中央コミュニティセンターに千葉県連盟特設会場を開設する。
- ⑥県知事顕彰会
 - ・コロナ禍で延期としていた知事顕彰の実施は難しいので、10月～11月を目処に県連盟顕彰会を行うことで調整する。

(2)指導者支援委員会

- ①指導者支援委員会勉強会(7/18)
 - ・新しいメンバーも増えたため、開設に関する勉強会を実施した。
- ②令和2年度 指導者養成訓練及びスカウト対象研修会開設計画表見直し
 - ・来年度の各種講習会等の日程について、9月までの各地区内調整を依頼。
- ③指導者集合訓練における新型コロナウイルス拡大防止ガイドライン、及びボーイスカウト講習会における安全対策について
 - ・1)開催会場の広さ・大きさに合わせた定員設定、2)定員オーバーの場合は締め切り、次の講習会へ案内をする等の柔軟な対応の連絡、3)会場費用がかかる場合は別途会場費を追加するので開催中止をせず相談してほしい等を委員会内で共有している。
 - ・参加者向け案内を、感染予防策等を含めた統一文書を作成した。
- ④団委員研修所の開設について
 - ・新型コロナウイルス感染症防止の観点から、宿泊をホテルに変更する。それに伴う予算増について承認した。

(3)運動拡充委員会

- ①文部科学省委託事業「子どもの心身の健全な発達のための子どもの自然体験活動推進事業」の今後の進め方について
 - ・実際の事業展開にあたっては地区・団の活動を把握し、実施可能な団を支援しながら進める。
 - 9月5日以降、連盟主催・団委員長向け説明会を4回開催したい。
- ②スカウトちばについて
 - 1) スカウトちば 96号について
 - ・9月8日に地区事務長宛に配送予定
 - 2) スカウトちば 97号について
 - ・「富士スカウト特集」とし、令和元年度富士スカウト取得者及び保護者、隊指導者から原稿を受領。
- ③「母親世代タスクチーム報告書」内容を反映した事業の実施
 - ・日本連盟(団支援・組織拡充委員会)が取組んだ「母親世代タスクチーム報告書」(平成30年6月5日付)をもう一度確認して、いま何をするか検討。
- ④地域活動事例の収集について
 - ・H21年度に調査した「地域との交流事例」の冊子を基に、別途対応を検討する。
- ⑤ホームページについて
 - ・タイムリーに情報発信していくためにはどのようにすればよいか(特に本年の状況のような場合にスカウトの活動に役立つ、また一般の方にPRできるような情報を発信するには如何にするか)HP構成と体制について考えたい
- ⑥「友情バッジ」について
 - ・コロナ感染症拡大防止対策で各団とも募集活動が思うように展開できていない。少しでも友だちを増やす観点から「友情バッジ」を県連盟委員会から支出することにしたい。

(4) 総務委員会

- ① 県連盟の法人化の必要性について組織評価特別委員会で行うことを検討する。
→ 組織評価特別委員会の体制については、10月の理事会提案を目標に進める。

(5) セーフ・フロム・ハーム(SfH)委員会

- ① 日本連盟からの教材を各団へ7月に配付した。

(5) 千葉県ローバース会議(CRC)

- ① 「九州豪雨支援クラウドファンディング」について
 - ・ 九州豪雨支援にクラウドファンディングサイトを利用することを検討中。
 - 目標金額: 20万円
 - メインターゲット: ボーイスカウト関係者
 - 期間: 1ヶ月
 - 寄付先: 日本赤十字社
- ・ 解決すべき問題があり、検討中。

(6) 第21回千葉県カブラリー(21CR)実行委員会

- ・ 第21回カブラリー(21CR)実施概要(案)について。WEBで配信予定。
- ・ 今後、参加申込、参加費徴収、具体的なプログラム作成等の準備作業に着手する。

(7) 千葉県キャンボリー(21CC)準備委員会

- ・ 21CC開催準備計画書V03について、以下のように報告がなされた。
 - 開催時期 2021年夏
 - 開催場所 成田ゆめ牧場キャンプ場
 - 大会テーマを「エンジョイ・キャンボリー ～冒険、未来の君のために～」とし、来年4月の上進者を迎えた新たな班での活動を通じて、各スカウトの成長に貢献する大会としたい。
- 参加形態については原隊参加を原則とする。

3. 県連盟コミッショナー報告

- ① スカウト活動中の指導者の飲酒の問題について
 - ・ セーフ・フロム・ハーム対応チームの報告を受けて、再発防止に向けた取り組みを県連盟コミッショナー主導で地区コミッショナー、セーフ・フロム・ハーム委員会と協働して行う。
- ② 県連盟スカウトフォーラム(10月11日、船橋視聴覚センターを予定)
- ③ 団の登録状況の分析
 - ・ 今年度の登録状況などから団の状況を分析中で、10月理事会にて報告予定。
 - ・ CDカテゴリーの団が増えており、今後、何を県連盟で支援するか、取り組むか、検討したい。

4. その他

- ① 2020年度第1回関東ブロック会議(2020年7月11日(土)、スカウト会館およびオンライン(Zoom)会議)報告
 - (1) コミッショナー研修所関東第32期の開設中止について
 - (2) 第4回関東ローバースカウトのつどいについて(2021年3月19日～21日)
 - …新型コロナウイルスの関係もあることから、今回は方向性の確認とし、12月の関東ブロック会議で改めて協議したいとの説明があり、方向性について承認された。

以上